

2019年度 定期総会議案

場 所 : ITビジネスプラザ武蔵 6階交流室
金沢市武蔵町14番31号

日 時 : 2019年6月12日(水)

(NPO法人)
石川県コンクリート診断士会

定 期 総 会 次 第

1. 開 会

(1) 会 長 挨 拶

(2) 議 長 選 出

2. 議 案

第1号議案 平成30年度 事業報告及び収支決算報告について

第2号議案 2019年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について

その他

3. 閉 会

第1号議案

平成30年度 事業報告および収支決算報告（案）

1. 事業報告

平成30年度の事業として以下の項目を実施しました。

- 1) 平成30年度定期総会：平成30年6月4日（月）（参加人数：49人）
 特別講演：花岡大伸氏（金沢工業大学 講師）「塩害劣化したRC部材の力学特性 等」（参加人数：56人）
 金沢勤労者プラザ 101 研修室

2) 技術セミナーの開催

1	「コンクリート診断士受験講座」	平成30年7月7日	(参加人数:19人) ※5名合格
2	技術講演会「コンクリート構造物における①IT(ICT)技術+②点検技術」 1) 『画像および点群3次元データの活用事例紹介』 M-C I M研究会 中馬勝己氏 2) 『スリット応力解放法およびワイヤレスセンサシステムについて』 ㈱計測リサーチコンサルタント 大町正和氏 3) 『FWDを用いた道路橋床版点検診断』 中日本ハイウェイエンジニアリング名古屋㈱ 巻田将聡氏 4) 『シン・クモノスと3Dレーザースキャナによるひび割れ調査の実例』 クモノスコーポレーション㈱ 生川真氏 (代)林浩貴氏 5) 『ひび割れを写真から自動検出する画像解析技術「ひびみつけ」』 富士フィルム㈱ 植木翔太氏	平成30年9月5日	(参加人数:44人)
3	現場見学会 「北陸新幹線動橋川橋りょう工事(銭高・富士ピーエス・吉光JV)」	平成30年11月21日	(参加人数:19人)
4	診断事例発表会 ◆会員事例発表 1) 『跨線橋の補修事例』 ナチュラルコンサルタント株式会社 近藤智裕氏 2) 『ウォータージェットシステムによる床版端部補修工法』 株式会社デーロス・ジャパン 山田創士氏 3) 『塩害アーチ橋の補修・補強施工事例』 住友大阪セメント株式会社 宮野暢紘氏 4) 『塩害環境下におけるRCボックスカルバートの調査診断事例』 アルスコンサルタンツ株式会社 寺越友一氏 ◆診断ケーススタディー (全員参加) ◆企業保有技術事例 5) 『PCグラウト再注入工法「PC-Rev工法」の施工事例』 オリエンタル白石株式会社 武知勉氏 6) 『気泡・アバタを軽減し長寿命化を実現する型枠シート』 アイエスティー㈱	平成31年2月27日	(参加人数:46人)

- 3) 石川県職員研修会 講師派遣 (講師：嶋田浩一氏，上田信二氏，浦田孔二氏)
 ①石川県庁(平成30年12月11日) ②奥能登行政センター(平成30年12月14日)
- 4) 石川県土木PR活動 協力
 ①南加賀土木総合事務所河川砂防課企画「動橋川河川改修現場見学会」(平成30年11月14日)
 参加者：小学生31名 ※動橋小学校にてコンクリートの説明とセメントによる模型作成体験
 ICDより協力者：古川博人、嶋田浩一、奥田由法、丸山雅之、橋場正明
- 5) (一社)日本コンクリート診断士会関連
 ①第9回定時社員総会(平成30年5月28日) 出席：古川会長、奥田理事
 ②第2回保有技術発表会，第6回業務体験発表会(平成30年11月16日) 発表：濱田康行氏
 「橋梁点検での損傷と対策例」
 ③部会長会議への出席(平成30年10月15日) 出席：奥田理事(JCD技術部会副部会長)
- 6) JCI中部支部主催、北陸三県コンクリート診断士会、北陸SIP共催 調査研究事業実施
 ①これからの維持管理を担う人材をいかに育成するか(平成30年4月27日) 地場産業振興センター
 ②これからの維持管理の技術を考えるフォーラム(平成30年11月21日) 福井県民ホール
 ③これからの維持管理を支える技術と人材を考えるフォーラムIN富山(平成31年2月15日)タワー111
- 7) 石川県コンクリート診断士会 理事会 7回開催

平成30年度 一般会計 収支決算書

自 平成30年4月1日
至 平成31年3月31日

【収入の部】

勘定科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	内訳
1. 会費	432,000	414,000	▲ 18,000	年会費(98名+法人12社)未納1名
2. 補助金	50,000	0	▲ 50,000	JCI中部支部・金沢大学SIP等
3. 自己負担金	200,000	209,500	9,500	情報交換会等
4. 講習会参加費	50,000	76,500	26,500	受験対策講座,現場見学会
5. 雑収入	0	1,206	1,206	利息等
6. 繰入金	0	0	0	
7. 繰越金	282,774	282,774	0	平成29年度より
合計	1,014,774	983,980	▲ 30,794	

【支出の部】

勘定科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	内訳
1. 負担金	98,800	106,200	7,400	JCD年会費、会員証発行費
2. 事業運営費	300,000	350,692	50,692	各種イベント(現場見学会、技術講習会)
3. 会議費	240,000	110,940	▲ 129,060	総会、各種理事会
4. 通信費	0	6,560	6,560	切手
5. 事務費	30,000	41,688	11,688	事務用品、文具、名刺代
6. HP維持管理費	40,000	0	▲ 40,000	
7. 旅費交通費	80,000	37,660	▲ 42,340	JCD総会、部会等出張
8. 印刷費	50,000	4,800	▲ 45,200	資料印刷代
9. 雑費	10,000	2,883	▲ 7,117	振込手数料ほか
10. 積立金	0	0	0	
11. 予備費	165,974	0	▲ 165,974	
小計	1,014,774	661,423	▲ 353,351	
繰越金		322,557	322,557	令和元年度へ
合計	1,014,774	983,980	▲ 30,794	

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

法人名： NPO法人 石川県コンクリート診断士会

活動計算書

2018年 4月 1日 ~ 2019年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費		276,000	
賛助員受取会費		18,000	
法人会員受取会費		120,000	
2. 受取寄付金		0	
3. その他収益			
自己負担金		203,500	
雑費		8	
講習会参加費		76,500	
経常収益計			694,008
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
臨時雇賃金	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
負担金	106,200		
運営費	342,613		
旅費交通費	37,660		
通信運搬費	6,560		
その他経費計	493,033		
事業費計		493,033	
2. 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
会議費	111,821		
事務費	41,688		
印刷製本費	4,800		
HP維持管理費	0		
雑費	2,883		
その他経費計	161,192		
管理費計		161,192	
経常費用計			654,225
当期正味財産増減額			39,783
前期繰越正味財産額			282,774
次期繰越正味財産額			322,557

法人名： NPO法人 石川県コンクリート診断士会

貸借対照表

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金 ゆうちょ銀行普通預金	322,557		
流動資産合計		322,557	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			322,557
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		282,774	
当期正味財産増減額		39,783	
正味財産合計			322,557
負債及び正味財産合計			322,557

法人名： NPO法人 石川県コンクリート診断士会

財産目録

2019年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	0		
〇〇銀行	0		
ゆうちょ銀行	322,557		
流動資産合計		322,557	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			322,557
II 負債の部			
1. 流動負債			
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			322,557

平成30年度 監査報告書

1. 監査日及び監査会場

- (1) 監査日 令和元年5月31日(日)
- (2) 監査会場 株式会社 東洋設計 会議室

2. 監査立会人

- (1) 理事 宮野暢紘(会計担当)

3. 監査対象

- (1) 事業の実施状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)
- (2) 会計の状況 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

4. 監査実施状況

特定非営利活動法人 石川県コンクリート診断士会定款第14条5の規定に基づき、上記監査対象を監査した。

5. 監査結果

- (1) 事業の実施については、会の目的に基づき適切に実施されていることを認めます。
- (2) 会計収支決算の内訳について、関係諸帳簿及び付属資料を詳細に監査しました。その結果、いずれも決算書のとおり適正に処理されていると認めます。

以上のとおり報告します。

令和元年5月31日

特定非営利活動法人 石川県コンクリート診断士会
会長 古川博人様

監事 石塚久幸



第2号議案

2019年度 事業計画（案）および収支予算（案）

1. 事業計画（案）

社会インフラの維持管理に貢献するため、コンクリート診断等の技術を有する人材育成、診断技術の向上・改善および、社会の発展や安全に寄与することを目的に事業を行う。

2019年度の事業としては以下の項目を予定する。

(1) 技術部会

1) 技術セミナーの開催

- ① コンクリート診断技術に関する技術講習会 : 2019年 9月 (予定)
- ② 現場見学会 : 2019年10月 (予定)
- ③ コンクリート構造物の診断事例発表会と診断講習会 : 2020年 2月 (予定)
※講習：鋼橋に関する診断・補修内容を予定

- 2) 石川県主催「コンクリート研修会」への講師派遣 : 2019年12月 (予定)
※内容：「塩害」に関する内容を予定

(2) 企画部会

1) 講演会開催

- 定期総会特別講演会：岩城一郎（日本大学 教授） : 2019年6月12日（水）
津田誠（石川高専 准教授）

- 2) 土木PR活動 : 2019年 11月 (予定)
石川県等が主催する市民や学生を対象としたコンクリート体験会への協力

- 3) コンクリート探偵団(仮)
会員や会員家族を対象に、浅野川に架かる橋梁巡り企画 : 2019年 10月12日(土)

- 4) 黒四ダム見学ツアー
会員や会員家族を対象にした見学ツアー企画 : 2019年 7月31日(水)

- 5) 橋のきずなプロジェクトへの協働 : 日程未定

(3) 広報部会

1) ICD活動レポートの発行（年4回）

会員に対して、活動紹介、会員会社の紹介、技術情報の提供、等を行う

2) ホームページのリニューアル、更新

行事案内や活動報告等の随時更新、内容の充実を図る

(4) 総務部会

1) JCD（日本コンクリート診断士会）関連

- ① 第10回定時社員総会への出席 : 2019年5月29日(水)
- ② 第7回業務体験発表会、第3回保有技術発表会（会場：高知市） : 2019年11月15日(金)
当会より1名の発表者を予定する
- ③ 部会長会議への出席 : 2020年 3月 (予定)

- 2) インフラメンテナンス国民会議（北陸フォーラム）への出席 : 日程未定

2019年度 一般会計 予算書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

【収入の部】

勘定科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	内訳
1. 会費	429,000			年会費(103名+法人12社)
2. 補助金	0			
3. 自己負担金	200,000			情報交換会等
4. 講習会参加費	380,000			現場見学会
5. 雑収入	3			利息等
6. 繰入金	0			
7. 繰越金	322,557			平成30年度より
合計	1,331,560			

【支出の部】

勘定科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	内訳
1. 負担金	120,000			JCD年会費、会員証発行費
2. 事業運営費	700,000			各種イベント(現場見学会、技術講習会)
3. 会議費	150,000			総会、各種理事会
4. 通信費	10,000			切手
5. 事務費	90,000			事務用品、文具、名刺代、HP維持費
6. 旅費交通費	100,000			JCD総会、部会等出張
7. 印刷費	50,000			資料印刷代
8. 雑費	10,000			振込手数料ほか
9. 積立金	0			
10. 予備費	101,560			
小計	1,331,560			
繰越金				
合計	1,331,560			

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

2019年度役員名簿

特定非営利活動法人 石川県コンクリート診断士会

NPO役員	職名	氏名	所 属
理事	会 長	古 川 博 人	ナチュラルコンサルタント株式会社
	副 会 長	麻 田 正 弘	アルスコンサルタンツ株式会社
		嶋 田 浩 一	株式会社 熊谷組
		上 田 信 二	真柄建設株式会社
	相 談 役	奥 田 由 法	アルスコンサルタンツ株式会社
	運 営 委 員	谷 本 竜 也	株式会社 デーロス・ジャパン
		丸 山 雅 之	日本海建設株式会社
		浦 田 孔 二	株式会社 日本海コンサルタント
		土 谷 功	株式会社 国土開発センター
		平 野 誠 志	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社
	事務局長	橋 場 正 明	株式会社ホクエツ北陸
会 計	宮 野 暢 紘	住友大阪セメント株式会社	
監 事	(監査役)	石 塚 久 幸	株式会社 東洋設計

N P O 役員以外の職員	職 名	氏 名		所 属
	顧 問	新任	鳥 居 和 之	金沢大学名誉教授
		退任	川 村 満 紀	金沢大学名誉教授
	相 談 役	新任	青 山 實 伸	(元)中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社
	運 営 委 員	苗 代 久 人		金沢生コンクリート株式会社
横 田 正 幸		オリエンタル白石株式会社		

事 務 局	株式会社ホクエツ北陸 金沢営業所 〒920-0056 石川県金沢市出雲町イ-260 TEL : 076-233-1818 FAX : 076-263-2670
-------	---

※任期は、2020年3月31日までとする。

定款第19条より

顧問 理事会に対し、必要な助言をすることができる

相談役 理事会の求めに応じ、技術活動を支援することができる

事務局長 本会の会務を処理する。

会計 本会の会計を処理する。

運営委員 本会の活動を支援する。

その他 職員は、理事会の承認を得た後、会長が任免する。

(一社) 日本コンクリート診断士会 2019 年度 定時社員総会(19.05.29)についての報告

1. 議案

- 第 1 号議案 2018 年度事業および収支報告について
- 第 2 号議案 細則改訂について
- 第 3 号議案 設立 10 周年記念行事について
- 第 4 号議案 事務局移転と定款の変更について
- 第 5 号議案 2019 年度事業計画および収支計画について

2. 報告

- (1) 会員数報告等
- (2) 参加委員会報告
- (3) 理事・幹事担当

3. 討論会 「コンクリート診断士会の魅力づくり」

*総会資料は JCD・HP 参照願います

設立 10 周年記念行事について

2010 年 7 月設立総会→2020 年に 10 周年 記念行事、祝賀会の開催予定、詳細は今後検討。

事務局移転について

東京国分寺市・(株) シーアンドアールコンサルタント → 愛知県清須市・東海シーエス工事(株)
今後、総会は名古屋地区で開催。幹事会は名古屋に参加可能な会員により再構成。

2019 年度の主な事業計画

- ・年次発表会(業務体験及び法人会員の保有技術の発表)の開催 2019 年 11 月 15 日(金) 高知市
- ・講師派遣 ・受託業務対応 ・関連委員会等への参加; JCI サステナビリティ委員会ほか
- ・メールかわら版 ・未入会地区診断士会の入会の促進・支援

2019 年度収支計画

- ・収入: 5,798,569 (法人会費;1,600,000、地区会より;1,385,600、繰り越し;1,892,138、ほか)

討論会 「コンクリート診断士会の魅力づくり」

コーディネーター: 林静雄会長 パネラー; 奥村(鳥取) 竹内(東海)、森(富山)

1) 鳥取・奥村;

「鳥取大学ツナガルドボク」の活動に参画。学生の意見“建設業界は全て行政やシニア主導であり、若手主導にならないと若手にとっての魅力が感じられない” JCD もこの若者たちの意見に共感し、会の内部で考えるより外部(次の世代を担う若手)の意見をもっと取り入れる活動をしていく事により、JCD の魅力を向上させる事ができるのではないかと。産官学による人材育成(地元外への若者の流出を抑制する)、地域活性化が引き金になって活動をしている具体例を紹介された。

2) 東海・竹内

東海コンクリート診断士会は、JCD に所属するために設立した。その目的は全国の情報、人と人との繋がり(人脈)等々…を得るためである。有志による自己研鑽を目的とした会なので、ボランティア的な活動展開に限界を感じている。北陸 3 県、及び鳥取・島根の活動は魅力的で素晴らしいと改めて感じ

る。どのように外部への発信・PR をしていくかが大きなテーマであろう。

3) 富山・森

フォーラムで、県内 4 つの大学の学生に「私たちが考えるコンクリート構造物の未来のすがた」をテーマとして発表してもらった。様々な多くの人とのつながりが重要であり、人と人とのつながりが大きなネットワークになる。産官学のプラットフォームに診断士会が核になって活動することが大きな発展に繋がる。JCD の活動も今以上に大きなプラットフォームになっていくべきではないか。

4) 林会長

診断士会の活動が、子供・学生を対象とした人材育成から発展していく可能性があることを感じた。金銭的な支援、予算、組織等々の障壁はあるが、外からの魅力度の発見に繋がるのではないか。

5) 会場からの意見・提言

- ・鳥取県の学生の活動費用？
- ・学生との接点のきっかけは？
- ・地域の町興しをするように、「外から目線」で考える必要がある
- ・国交省に蓄積されている維持管理に関する様々なデータの活用方法を JCD が提案できないか。提案することで魅力発信につながるのではないか。
- ・JCD として様々なコンテンツや成功事例を収集し、各地区に配信・共有する取り組みができれば発展につながるのではないか
- ・10 周年記念行事として、各地区会の取り組み・特徴等をまとめてはどうか。その JCD の軌跡が各地区に役立つものとなるのではないか。
- ・一般の人が興味を引く「防災・減災」の話の一環として、診断士会がインフラ整備の重要性を伝えることができないか
- ・JCD として行政サイドに診断士の活用を要請できないか→かわら版の各行政への DM 送付を検討中。
- ・マスコミを活用するなど一般の人に PR できないか→広島、石川の例あり
- ・10 周年のアピールに、活動状況等を撮ったメンテナンス写真集等の冊子の制作はできないか

6) 石川副会長まとめ

5 月の改元は良き日本文化（旧元号を振り返り新しい時代への期待を託す）の慣習であり、10 周年という大きな節目を迎えんとしている JCD として今回の討論会は、“次の 10 年に向けての魅力づくり”を考えるのに良い機会であった。JCD 活動の根幹を成す活動の最前線は各地区の診断士会であり、そのバックアップを JCD としてどうするかは今後の課題であるが、今日の討論会で感じたことを各地区に持ち帰ることを成果としていただきたい。

会員数と地区会の加入状況

個人会員数(2019.04.01現在)								
No	地区会名	学術	正(法)	賛(法)	正	賛助	合計	増減
1	福井県コンクリート診断士会	6	-	-	144	4	154	6
2	鳥取県コンクリート診断士会	2	-	-	53	0	55	5
3	島根県コンクリート診断士会	1	-	-	89	0	90	2
4	東京コンクリート診断士会	3	23	9	154	3	192	-6
5	(NPO法人)石川県コンクリート診断士会	0	-	-	101	6	107	4
6	(NPO法人)大分県コンクリート診断士会	3	1	0	77	0	81	2
7	青森県コンクリート診断士会	2	1	0	52	0	55	0
8	静岡コンクリート診断士会	0	-	-	77	0	77	1
9	京滋コンクリート診断士会	0	1	0	20	1	22	1
10	高知県コンクリート診断士会	3	-	-	45	0	48	2
11	新潟県コンクリート診断士会	2	-	-	113	5	120	-9
12	長野県コンクリート診断士会	4	1	1	61	7	74	3
13	北海道コンクリート診断士会	0	4	1	115	5	125	2
14	東海コンクリート診断士会	1	0	3	103	24	131	15
15	広島県コンクリート診断士会	2	-	-	87	0	89	0
16	宮崎県コンクリート診断士会	1	-	-	47	48	96	2
17	富山県コンクリート診断士会	0	-	-	55	15	70	4
18	宮城県コンクリート診断士会	0	-	-	12	0	12	0
19	(一社)熊本県コンクリート診断士会	5	-	-	53	0	58	7
20	岡山県コンクリート診断士会	3	-	-	76	4	83	83
21	直接入会会員		2	0	7	1	10	1
合計		38	33	14	1541	123	1749	125

*法人会員欄で「-」はJCDが未集計の地区会

法人会員数(2019.04.01現在)				
No	法人会員ランク	会員数	法人枠登録個人会員	
			正会員	賛助
1	ランク SA	0	0	0
2	ランク A	15	14	6
3	ランク B	9	6	2
4	ランク C	58	13	6
合計		82	33	14

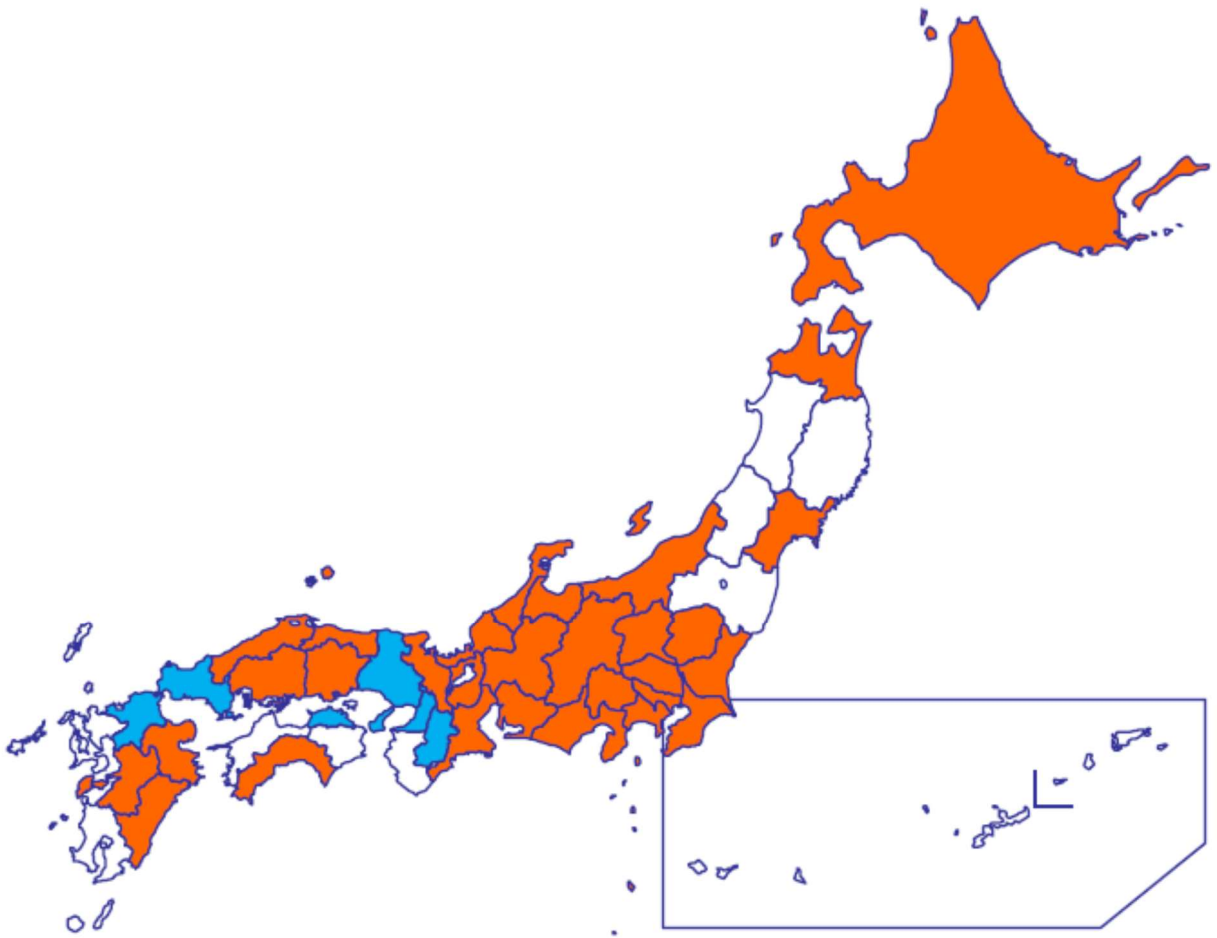


図-1 JCD に参加している地区のコンクリート診断士会

■ : 地区会設立・JCD 参加*

■ : 地区会設立済み・JCD 未参加 兵庫・大阪地区、奈良県、香川県、山口県、福岡県(一旦入会后脱退)

*東京は、東京・千葉・埼玉・山梨・神奈川・群馬・茨城・栃木を所管

*京滋は、京都・滋賀を所管

*東海は、愛知・三重・岐阜を所管